

# 升形小だより

12月・新年号

平成26年1月20日  
新庄市立升形小学校  
文責 校長 横山 薫

## ブリッジ授業／本合海小と交流

11月27日(水)に、本校で英語のブリッジ授業が行われました。本合海小学校の4・5年の子どもたちが来校し、4年生は体育館で交流活動、5年生は教室で英語の授業を受けました。

5年生の英語の授業は、八向中学校から伊藤美咲先生にお願いして授業をしていただきました。子どもたちは、お互い自己紹介しながら用意されたシールを交換していました。

八向3校の交流授業の一環としてブリッジ授業を行ってきましたが、小中一貫教育を進めていく上でも、いろいろな形で交流を図っていきたくと考えています。

小学校で中学校の先生から授業を受ける経験はきっと中学校に行っても生きる経験だと思えます。



## 心の交流／養護学校と



11月28日(木)に、新庄養護学校の子どもたちと一緒に活動を行いました。

開会行事では、歓迎の言葉そして養護学校からの子どものあいさつがありました。2人もきちんと言うことができました。その後、体育館での活動でしたが、紅白まり入れやの当てゲーム、積み木崩しなど楽しい活動を行うことができました。

本校の3年生までの子どもたちは、6月に養護学校を訪問して交流活動をしてきました。今回は、2回目で升形小学校に迎えることになりました。

升形小学校の子どもたちは、毎年、新庄養護学校や農業大学校と交流を図っており、この活動を通して「人とのかかわり」「物とのかかわり」「自然とのかかわり」の大切さを学んでいます。校内の活動だけでなく、校外の活動も子どもたちの成長には欠かせないことだと考えています。

## 「いのち」について考える

12月4日(水)に「いのちの集会」を開きました。上学年と下学年に分かれて、いのちの大切さや生きることについて考えました。下学年では、養護学校との交流から学んだことを話し合いました。上学年では、スーザン・パーレイ作の「わすれられない おくりもの」という本を先生に読んでもらい、その感想を発表して交流を図りました。本校では、「いのち」について考える月間を設定しています。いのちの大切さを、みんなで考える時間を共有できて良かったと思います。



## 静寂の中で凜として



1月9日(木)に、新春の慶びを筆に託し豊かな情操を育てるために、書き初めを行いました。体育館が会場でしたが、始まる前に、子どもたちは全員正座をして開会を待っていました。

開会式が終了し気持ちを整え、いよいよ書き初めです。1・2年生は硬筆、3年生は「光るにじ」4年生は「世界の子」、5年生は「強い信念」6年生は「創造する心」です。

緊張した雰囲気の中ででしたが、心をこめた作品ができ上がりました。

凜とした静寂の中で行われる活動は、年に何回もありません。落ち着いて活動できる機会を子どもたちに提供し、心の成長につなげていきたいと思えます。作品は、1階廊下に展示します。期間は、1月10日(金)から1月31日(金)までです。どうぞご覧になってください。



## 今年もよろしくお願ひいたします

1月8日(水)に、校舎の周りの雪を機械で掘りました。屋根から落ちてくる雪の量が多いため校舎の周りを覆ってしまったからです。話を聞くと、昨年3回雪掘りをしたそうです。

今年の雪の量も多いのですが、子どもたちは元気に登校しています。1月も下旬を迎えますが、残り2ヶ月、学校では「学年の学習のまとめ」に入ろうとしています。

スキーの学習が始まります。スキーは、体力づくりには良い運動です。2月にはスキー記録会が行われます。寒い時期がもうしばらく続きますが、「わかすぎっ子」のパワーを発揮して寒さを乗り越えてもらいたいと思っています。

保護者や地域の方々には、学校の教育活動には協力していただき感謝申し上げます。今年もよろしくお願ひいたします。